

資料3 グランド・ティートン登攀ルートにつて (大塚)

Grand Teton 峰 4172m にはその前衛峰の Enclosure 4024m を含めて 25 以上の登攀ルートがあり、それぞれのバリエーションを入れると無数のルートが開拓されていると言っても過言ではない。

ここでは Grand Teton 峰登攀ルートの中で、我々が登ろうとした一番クラシックでかつベーシックなルートである Owen-Spalding ルートについて、その詳細を記述した。このルートは、1898 年 8 月 11 日に William Owen、Franklin Spalding、Frank Peterson、John Shive の 4 人によって初登された。

本文と一部重複するが、以下にそのルート図、ルート写真を示した。引用出典は下記記載のとおり。それぞれの図への加筆は大塚。

1 「ルート全体鳥瞰図」 = Google Earth 衛星画像に大塚がルート・地点名を加筆(無雪期)

2 「地形図」 = *Trail Illustrated Map, Grand Teton National Park* : National Geographic

3 「Garnet Canyon ルート及びキャンプサイト図」 = Grand Teton National Park Service HP

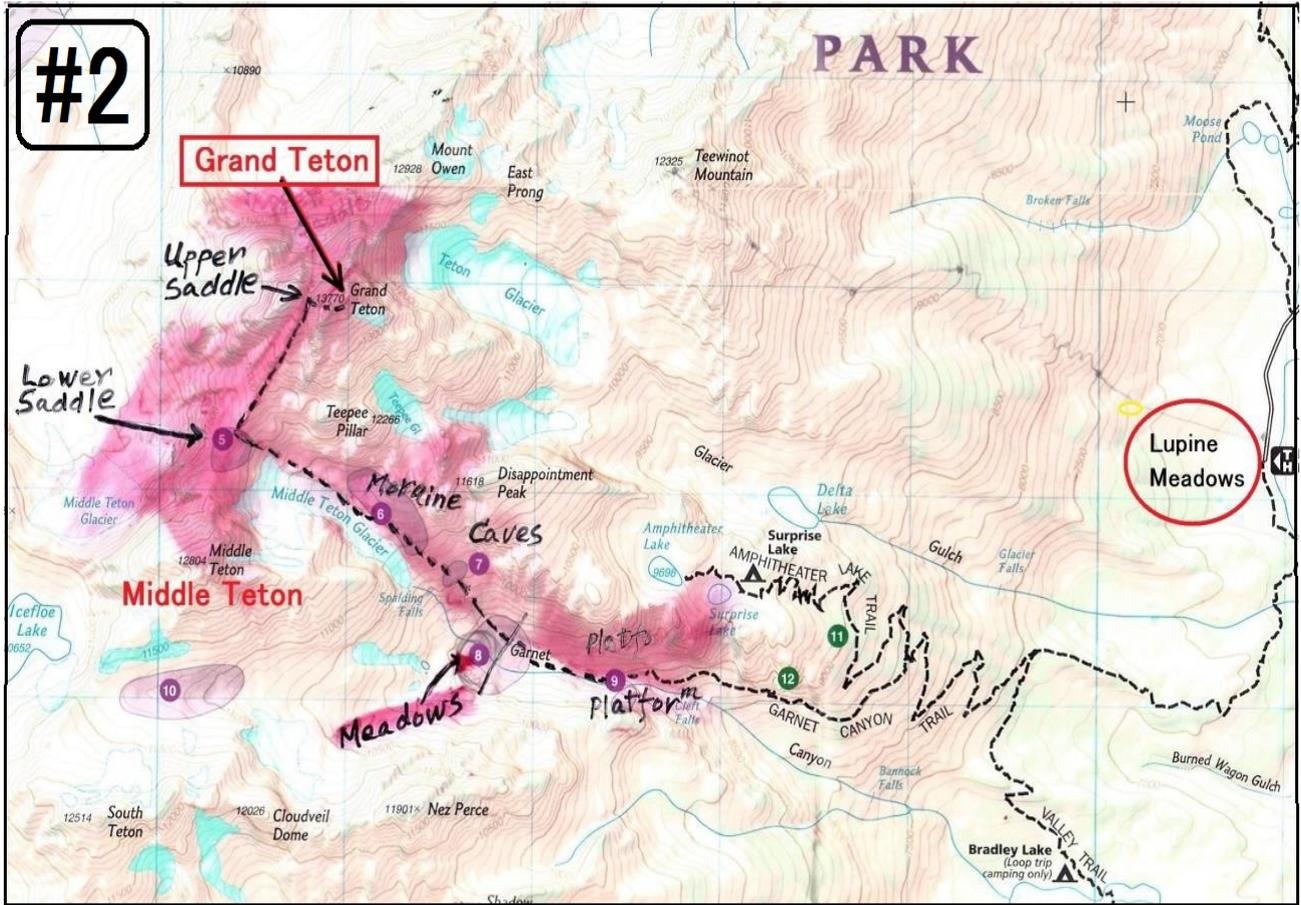
4 「ルート全体図 (Lower Saddle ~ Summit 間)」

R. Rossiter. *Best Climbs Grand Teton National Park* : Falcon Guide

5 及び # 6 「ルート写真」 及び # 7 「Upper Saddle Summit 間ルート詳細図」

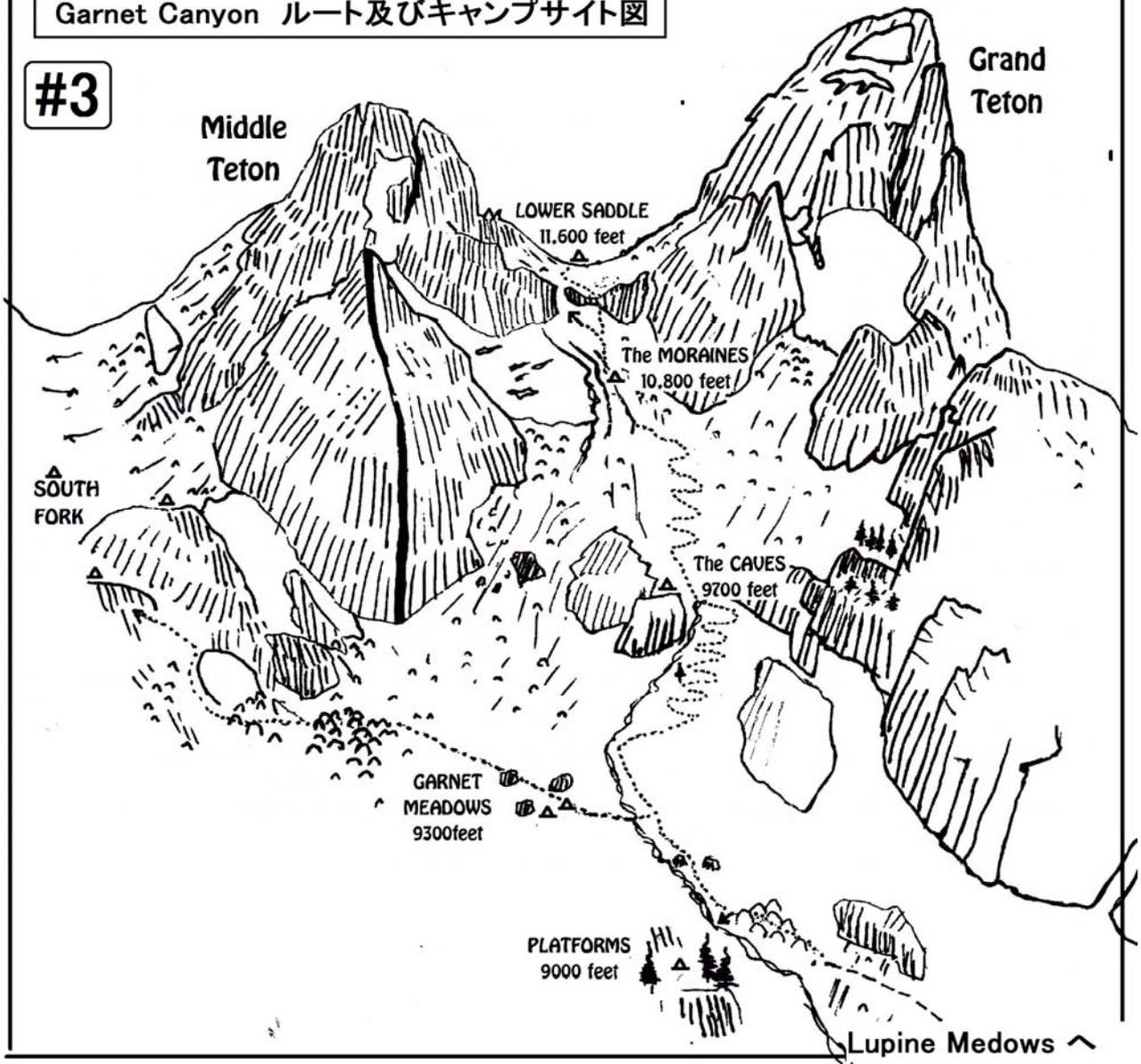
L. N. ortenburger & R. G. Jackson. *A Climber's Guide to The Grand Teton: The Mountaineers*





Garnet Canyon ルート及びキャンプサイト図

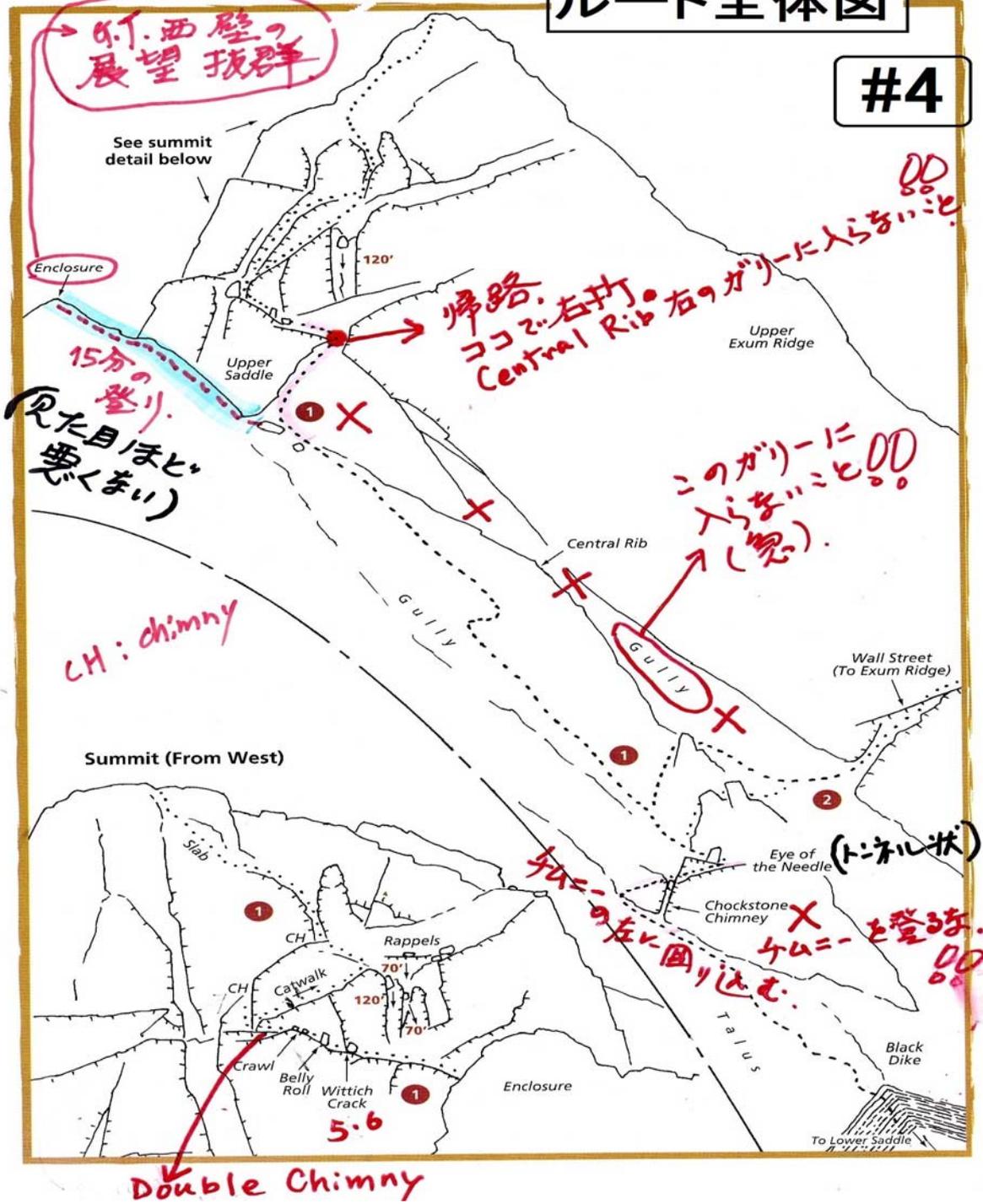
#3



Grand Teton—Owen-Spalding Route

ルート全体図

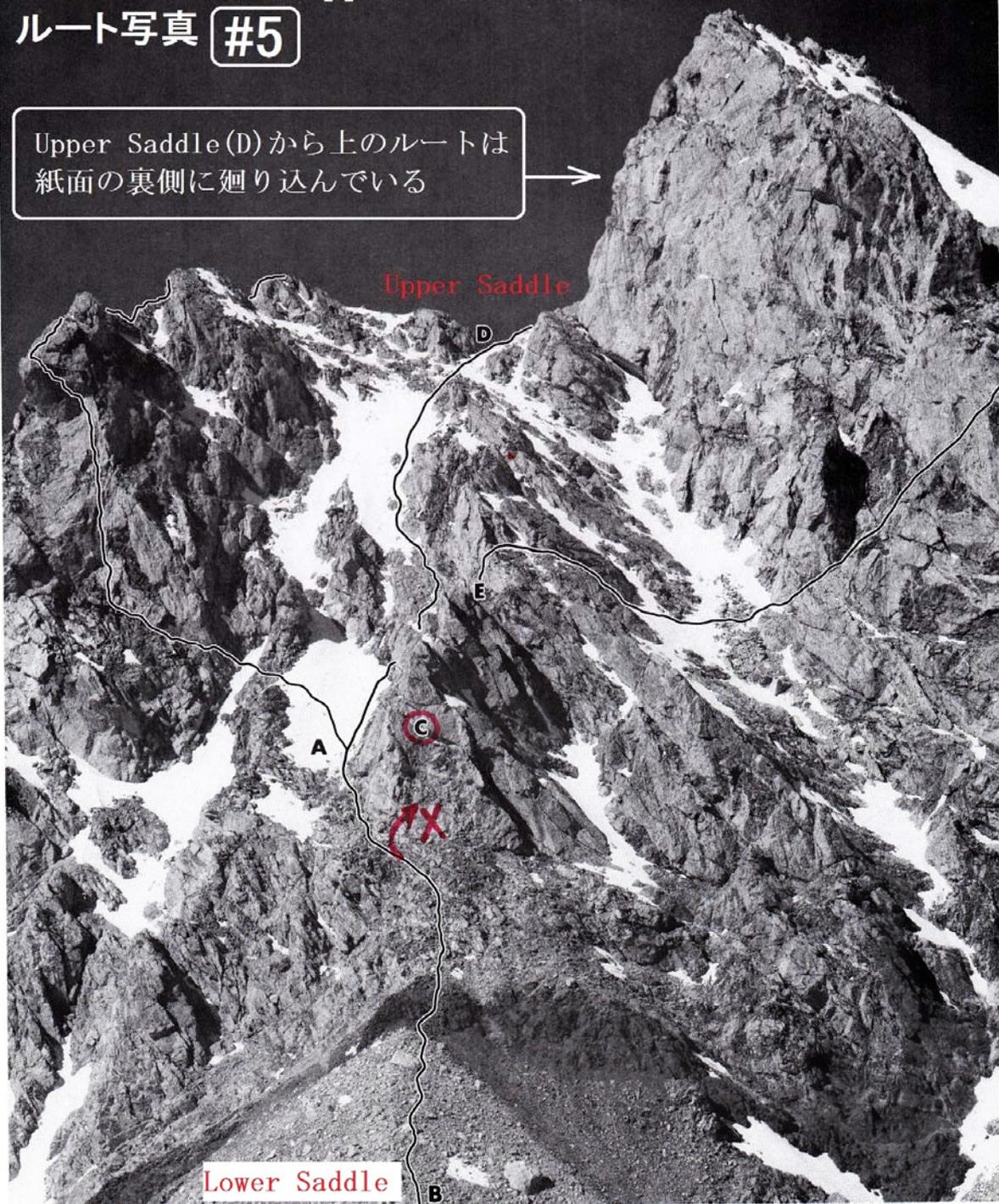
#4



Lower Saddle~Upper Saddle間
ルート写真 #5

Summit

Upper Saddle(D)から上のルートは
紙面の裏側に廻り込んでいる



41. The Enclosure and Grand Teton (South Aspect)

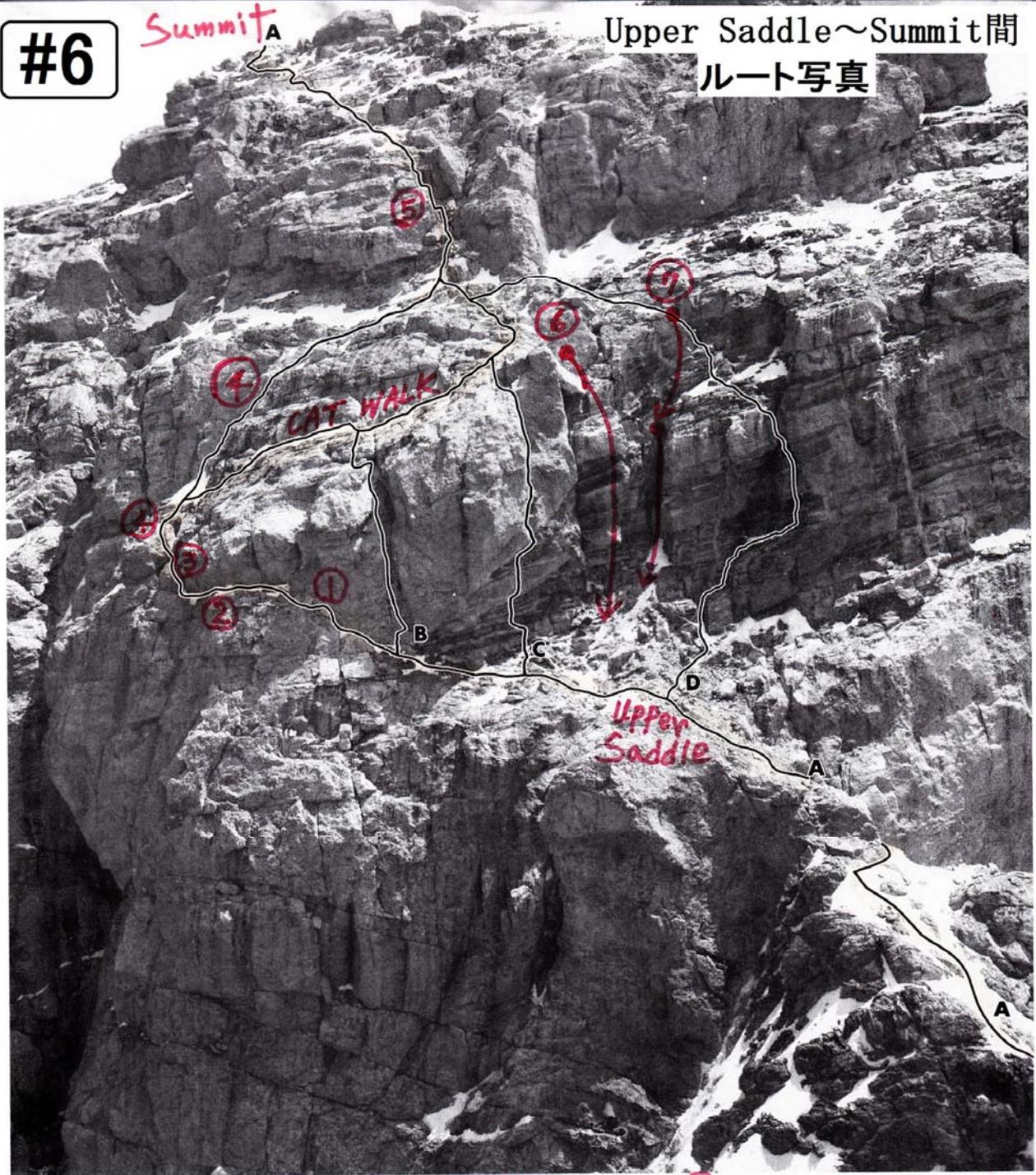
- A. South Face, Jim's Big Day
- B. Owen-Spalding
- C. The Needle
- D. Upper Saddle
- E. Approach to Exum Ridge via Wall Street

C. The Needle (Needleの右側に入り込まないように!!)

#6

Summit A

Upper Saddle~Summit間
ルート写真



37. Grand Teton (West Aspect)
 A. Owen-Spalding
 B. Wittich Crack

① Belly Roll
 ② Crawl

⑥ main Rappel

③ Double chimney
 ④ Owen chimney

⑦ Secondary Rappel
 (20m * 2回)

⑤ Sargent's Chimney

C. Collins-Hume
 D. Emerson Chimney

ここはグランド・ティートン峰山頂から南東に派生した岩稜が Teepee Pillar 3717m、Disappointment Peak (偽グランド・ティートン) 3521m などの前衛峰を屹立させて Jackson Hole の山麓に落ち込む尾根の末端部分に当る。道はこの尾根の末端部を巻いて Garnet Canyon に入る。この Canyon には5箇所の back country camping ground が設定されており、幕営することができる。下側から順に Platforms、Garnet Meadows、The Caves、The Moraines、レンジャー小屋とガイド小屋がある Lower Saddle である。最初の Platforms は登山口から約 7km の位置にあり、我々が行った 6 月下旬ではこの辺りから残雪が現れた。更に溪谷沿いの道(左岸)を 1 時間程登ると Meadows に着く。ここはグランド・ティートンやその南側のミドル・ティートン、サウス・ティートン、クラウドベール、ネスパース、東南側のディサポイントメント・ピーク(偽グランドティートン)などの壁から落ちる支沢が集まっている気持ちの良い平坦地で草地の真ん中をゆったりと流れが蛇行していた。このキャニオン最後の平坦地であり、ここから上には平地は無く、6 月下旬では Lower Saddle 下部の山腹の殆どは急な雪渓に覆われていた。



(Platforms キャンプ地)



(Garnet Meadows キャンプ地)

Garnet Meadows からは、グランド・ティートン峰とミドル・ティートン峰のコルである Lower Saddle を目指して登って行く。夏のトップシーズンには Meadows 上部の大岩の右側の小支尾根につけられているスイッチバックの道を The Caves を経由して The Moraines まで登り、そこからは Lower Saddle 下部の小岩稜帯の隙間(トップシーズンにはフィックスロープがある)を越えて行くか、または左側の雪渓を登るのが一般的なルートとなっている。

シーズン初期には、上記のスイッチバックの登山道は急な雪渓が残っていたり、浮石の多いガレ場、ザラ場となっていて危険であるので、Garnet Meadows から The Moraines まで大岩の左側の雪渓上を登り、更に Lower Saddle へも左側の雪渓上を登るコースが採られている。我々もこの雪渓コースを登ったが、下部雪渓は傾斜が急でおまけに雪が腐っているので滑落の危険があり、下部雪渓ではスタカットの確保を 4 ピッチ行って The Moraines まで登った。確保支点となるような岩などは何もないか、たまにあっても大き過ぎてシュリングが巻けず支点が作れないので、スノーバーでアンカーを作る必要があるが、雪が腐っていて余り効かない。確保はスタンディング・アックス・ビレーで行った。レンジャーの話によると、我々が登った数日前にもこの雪渓で滑落事故があり、ベルクシュルントに墜ち込んで死亡したとのことだった。また、この雪渓の左岸にある小岩稜の尾根にもトレースがあったが、この尾根には急な雪渓が残っていたり、ガレ場やザラ場の連続で、ガイドが顧客を連れて登る時だけに使われるルートのようにだった。



(Garnet Meadows 上部の雪溪の様子、6月下旬)



(Lower Saddle 下部の雪溪の様子、同)

(本項の写真は大塚撮影)

(2) Lower Saddle～ Upper Saddle 間 (#4「ルート全体図」、#5「ルート写真」参照)

■ここからグランド・ティートン山頂までのルートは実際には登っていないので、下記のガイドブックや現地各種HPなどを参照して記述したものであることをお断りしておく。また、季節は無雪期のものである。

(i) L. N. Ortenburger & R. G. Jackson. *A Climber's Guide to the TETON RANGE*

3rd ed. Seattle: The Mountaineers Books 2009

(ii) R. Rossiter. *Teton Classics 50 Selected Climbs in Grand Teton National Park*

Guilford Connecticut: Falcon Guides 1994

(iii) R. Rossiter. *Best Climbs Grand Teton National Park*

Guilford Connecticut: Falcon Guides 2012

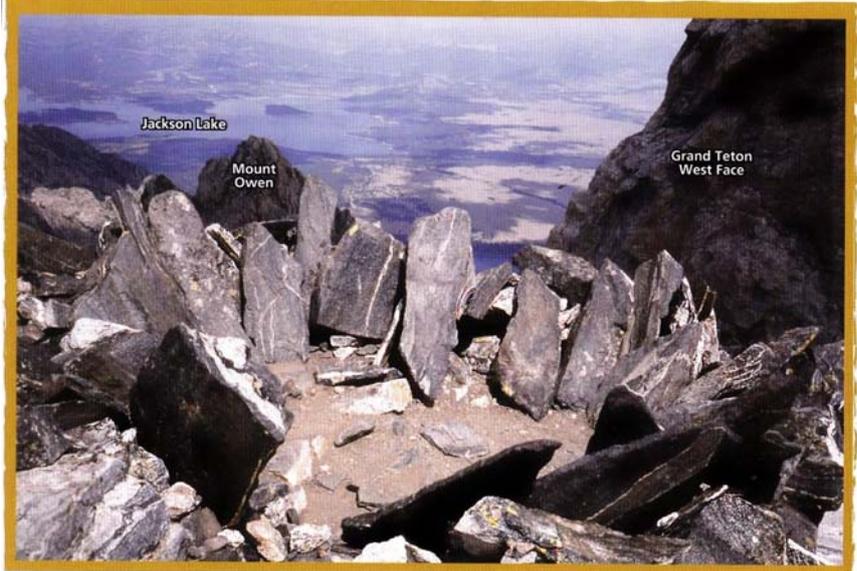
グランド・ティートン峰とミドル・ティートン峰のコルである Lower Saddle からは、今までと方向を90度右に転針し、グランド・ティートン峰の基部を目指して登って行く。幅広い尾根状を暫く歩くと、目の前にブラックダイクと呼ばれる黒い岩層帯が横たわっている所がグランド・ティートン峰の基部である。ブラックダイクを越えると目の前に The Needle と呼ばれている大きな岩塔がある。The Needle 基部を右に行くと急峻なガリーに入り込むので右に入ってはいけない。この岩塔の基部は左に回り込む。左に回り込んだらすぐにチョックストーンが挟まったチムニー(Chockstone Chimney)がある。このチムニーは登らず、左に回り込んで Eye of the Needle と呼ばれるトンネル状を抜ける。ここからは Central Rib と呼ばれる小岩稜帯の左側のガリーを登る。Eye of the Needle のすぐ上で Exum Ridge に通じるトレースが右に分岐する(Wall Street)。途中の小スラブ、黒い岩、黒いクーロアール付近は滑落の危険があるので、特に下降時には慎重に下る必要がある。黒いクーロアールを登ると Central Rib の稜線に出るが、トレースはまた左のガリーに下っている。シーズン初めには、Eye of the Needle 上部から雪溪伝いに Upper Saddle まで登って行くコースが推奨されている。なお、Central Rib の右側(東側)のガリーは Exum Ridge との間の急峻なガリーとなっているので、絶対に入ってはいけない。

(3) Upper Saddle～山頂間

(# 4 「ルート全体図」、# 6 「Upper Saddle～Summit 間写真」、
7 「Upper Saddle～Summit 間ルート詳細図参照」)

Owen-Spalding ルートでは、Upper Saddle～山頂間の岩壁が登攀の核心部となっている。Upper Saddle のすぐ左側(西側)には Enclosure というジャンダルム 4024m が屹立し、その山頂からはこれから登攀する Upper Saddle～山頂間の岩壁(グランド・ティートン西壁)が手に取るように見えるから、これからのルートを偵察するには絶好の展望台である。Upper Saddle から Enclosure への登路は一見困難のように見えるが、登ってみると左程ではなく、15分ほどで頂上に達する。

Summit of the Enclosure Looking Northeast



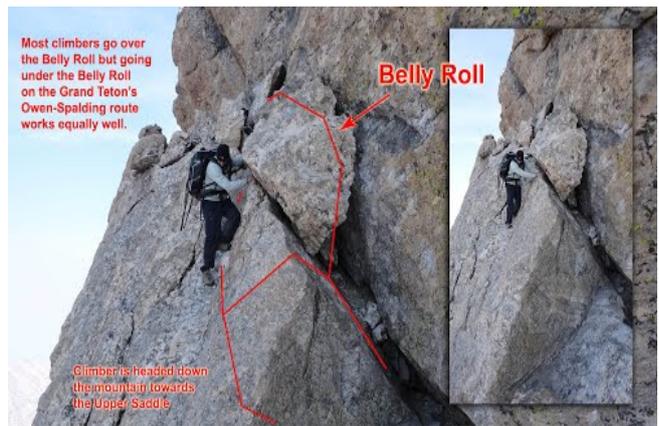
(Enclosure 山頂、上記 (iii) より引用)

Upper Saddle から左に登ると、グランド・ティートンの西壁基部に出る。ここからは急峻な岩場が連続する。最初に出てくるのが Wittich Crack(#6 で B 点)である。一般的にはこのクラックはバリエーションルート(2ピッチ、ysd5.6、日本流では5.8?)であり、クラックを登らず基部をトラバースするだけであるが、後述の Double Chimney が氷結している時期にはこのクラックを登って直接上部の Cat Walk に出ることが出来る。この場合には、後述する Belly Roll、Crawl、Double Chimney、Owen Chimney などの難所を避けることができる。

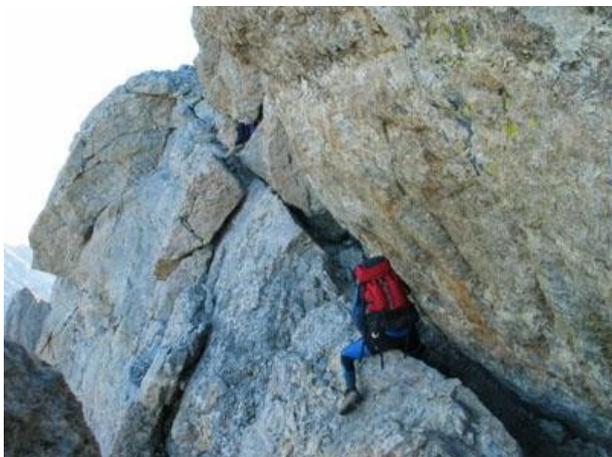
Wittich Crack の基部を左に行くと Belly Roll、Crawl(匍匐前進の意)という巨大なフレーク(large detached flake)が出てくる。この付近は切り立った壁が足下に落ちている場所なので高度感が大きく、ここからはロープで確保した方がよい。また、ここから上部の支点は Crawl に打ってある1本のピトン及び、懸垂下降点に設置されているボルトリングだけなので、カムデバイス、ナッツや岩角に巻くシュリングでアンカーやプロテクションの支点を作る必要がある。

クローリング付近のルート図、ルートの様子を次ページに示した。

クローリングを過ぎると、Double Chimney(ysd5.5、日本流では5.7?)が待っている。ここを登ると Cat Walk という長さ50m程のランペがある。このランペは緩やかスラブではあるが、足下が垂直に切れ落ちているので高度感がある。ここは氷結している時には通れないので、長い Owen Chimney を登って、Cat Walk の上部に出ることになる。この少し上部には長い而易しい Sargent's Chimney があり、そこを登り切れれば後は斜度30度程度の緩いスラブを100mほど歩いて登ればそこが Teton 連山の最高峰 Grand Teton の頂上である。



(以上の3葉は Wyoming Whiskey NET HP より引用)



(Belly Rolle、supertopo.com より引用)



(Crawl 出口、seiclimbing.com より引用)

最後に、下山路について記しておく。下山も基本的には登路と同じルートを忠実に下ることになるが、一部懸垂下降などで下る場所がある。

まず、頂上直下のスラブを下った所にある Sargent's Chimney は懸垂下降で下った方が安全である。次に Sargent's Chimney を出てから Cat Walk の上端(南端)に下った所で Cat Walk には戻らず、少し左側を探すとケルンの先に大きなリングが付いた懸垂下降の支点が見えるので、ここから懸垂下降で一気に Upper Saddle まで下ることが出来る。これは Cat Walk、Double Chimney、Crawl、Belly Roll という難度が高い岩場でのクライムダウンを避けて安全に下るための懸垂下降である。

懸垂下降点は2箇所が選べる。#7図のG点とH点の2箇所である。

G点は Lower Saddle 上端までの懸垂下降距離が 36mあるので、50m ロープ2本を連結して下降しなければならない。懸垂下降の支点は設置されているハンガーボルトリングを使う。この懸垂下降では最後の 20m が空中懸垂となる。

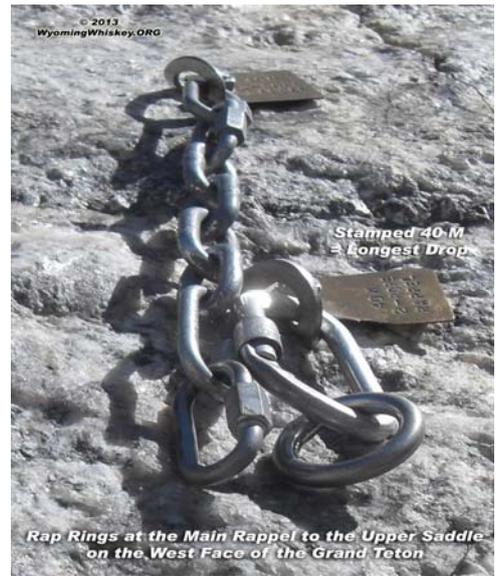
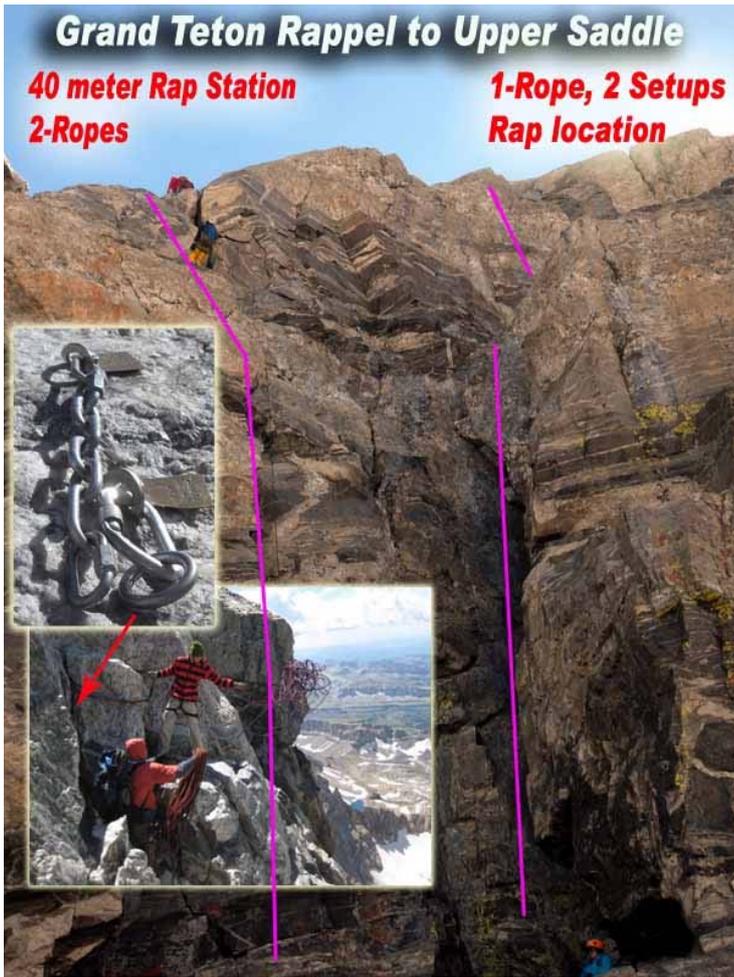
H点からの懸垂は、下降距離 21m×2 ピッチの切り替えし懸垂となるので、ロープは 50m ロープ1本で済むというメリットがある。但し、2回目の懸垂下降の始点(切り替えし点)は下図(H2点)に見えるように、浮石やゴロタ石が積み重なった狭くて不安定な斜面であるので、せいぜい2人くらいしか立つことができないし、また足下が切れ落ちているので滑落する危険性が高い。従って我々はギアは増えるがロープ2本を持参してG点からの下降を選択することとした(下図で青色シャツの人の場所)。

また、G点からの下降する場合に、ハンガーボルト(下図G1点)を懸垂下降の支点として使わず、その少し下部にある岩塔(G2点)に長いシュリングを巻き付けて支点とする方法を選べば、ロープは 50m では足りないが、60m ロープであればその伸張を含めれば何とか1本で下降できるという報告もある。

(Wyoming Whiskey.NET HP ~The Rappel To The Upper Saddle~)。下図で赤シャツ・茶色ザックの人が降りている場所。

以下に両懸垂下降地点の位置(引用出典=いずれも Wyoming Whiskey.NET HP に加筆)、及びそれぞれの懸垂支点を示す(懸垂支点写真の引用出典は各葉に記載)。

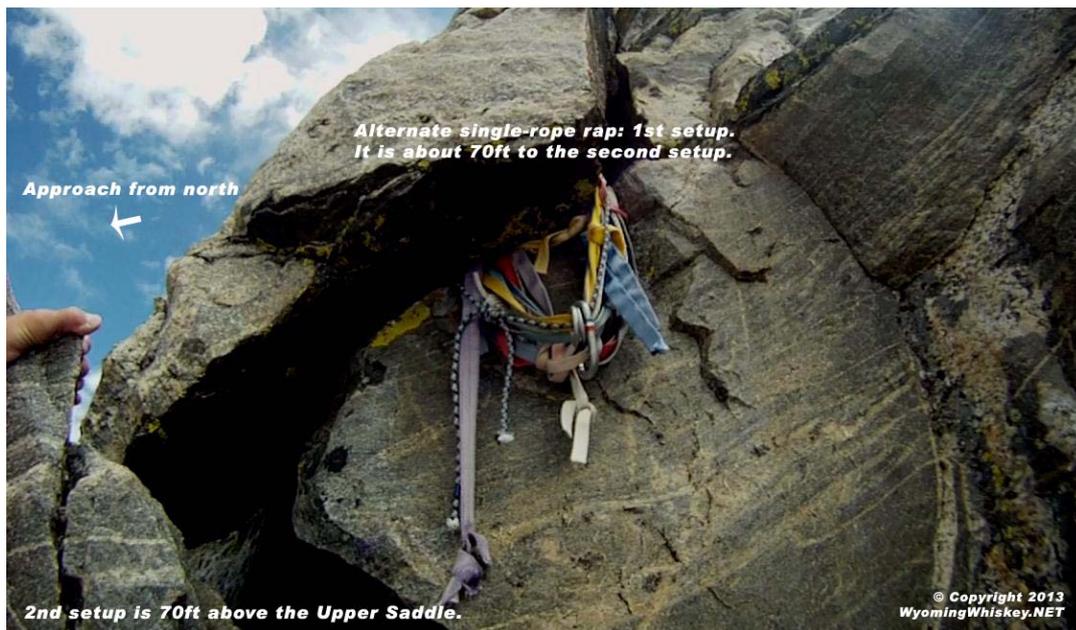




(G1 のハガーボルト、Wyoming Whiskey.NET HP)



(G2 点の岩塔に巻き付けたシュリング、
Mountain Project.com) ⇒⇒⇒



(H1 点のシュリング、Wyoming Whiskey.NET HP)

また、懸垂下降の様子は以下のとおりである。



(Spike Wharton. edu)



(Dreamstime. com)



(Jacobuckner. wordpress. com)



(lustik. com)

次に、Upper Saddle から下部のルートに関する注意点は下記のとおりである。

- ①Upper Saddle の降り口では、そのまま真っ直ぐに下ると Central Rib 左側(東側)の急峻なガリーに入り込んで危険であるので、すぐ右(南西)に曲がって Central Rib 右側(西側)を下るようにしなければならない。Central Rib 左側(東側)のガリーは Central Rib とその東隣に位置している Exum Ridge の間に切れ落ちている深いガリーであるから、絶対に迷い込まないこと。
- ②Upper Saddle から Lower Saddle までの間にある黒いクーロアール、黒い岩、小スラブは滑落の危険があるので、特に下降時には慎重に下る必要がある。

最後に、Owen-Spalding ルートの標準的なコースタイムを記しておく(無雪期)。

- 登山口 Lupine Meadows Trail Head⇒⇒Lower Saddle 7～8 時間程度
- Lower Saddle⇒⇒Upper Saddle 2～3 時間程度
- Upper Saddle⇒⇒Summit 2～3 時間程度